

成年年齢引下げに伴う消費者被害防止一斉キャンペーン

◆周知啓発キャンペーンを実施

成年年齢引下げ前日である令和4年3月31日に、イオンスタイル・イオンモール徳島1階にて周知啓発キャンペーンを実施しました。徳島インディゴソックスの選手が一人一人にチラシを配り、消費者被害防止を呼びかけました。



徳島インディゴソックスの平安山陽選手、
平尾蒼凱選手、小松京祐選手



すだちくんも呼びかけ



動画の放映

◆成年年齢引下げ特設webサイト開設

「成年年齢引下げで変わること・変わらないこと」や「若年者のトラブル防止」に関する情報を提供しています。啓発資料や動画、リンク集を掲載しており、さまざまなシーンで活用いただけます。



【URL】
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/syohisei/gyosei/5032723/5032737/7203374/>



作成 徳島県危機管理環境部 消費者くらし安全局 消費者政策課
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
電話：088-621-2175 FAX：088-621-2979
e-mail：shohishaseisakuka@pref.tokushima.jp

◆徳島県消費者情報センターでのテーマ展示

徳島県消費者情報センターにおいて「成年年齢引下げ」をテーマとした展示を実施し、広く県民への啓発を図っています。

- 期間：令和4年3月1日～令和4年5月31日
- 場所：徳島県消費者情報センター（アミコビル東館7階）



SNSフォロー
しませんか？

徳島県のSNSアカウントで最新情報を発信中！

@awaethical
@TokushimaPF

TIS通信も
ご覧ください

徳島県のホームページにてWebマガジン公開中！

TIS委員や協力機関等による国際的かつ最前線の情報発信をしています。

エシカル甲子園を開催しました ～「私たちが創る持続可能な社会」全国そして世界へ～

令和4年3月18日、徳島グランヴィリオホテルにおいて「エシカル甲子園2021」が開催され、エシカル消費の推進や実践を行う高校生等が、日頃の取組の成果や今後の展望等について発表しました。全国85校の応募の中から選ばれた11校の高校生等が徳島県に集い、エシカル消費の大切さを全国に向けて広く発信しました。



審査結果

- 内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）賞
徳島県立城ノ内中等教育学校・高等学校
 （開催県代表）
- 徳島県議会議長賞
麗澤中学・高等学校
 （関東ブロック代表）
- 徳島県教育委員会教育長賞
愛知県立半田商業高等学校
 （東海ブロック代表）
- 消費者庁長官賞
宮城県農業高等学校
 （北海道・東北ブロック代表）
- 徳島県知事賞
奈良県立奈良情報商業高等学校・奈良県立商業高等学校
 （近畿ブロック代表）
- 日本エシカル推進協会会長賞
沖縄県立八重山高等学校
 （九州・沖縄ブロック代表）
- エシカル甲子園特別賞
愛媛県立南宇和高等学校
 （四国ブロック代表）

次点校も参加し、交流会では活発な意見交換が行われました。

徳島県立城ノ内中等教育学校・高等学校の皆さん
おめでとうございます！



最優秀賞にあたる「内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）賞」を受賞しました。

とくしま消費者 見守りネットワーク定例会議

市町村見守りネットワークの活動を支援するため、「とくしま消費者見守りネットワーク」の構成員が協議・情報共有を行う定例会を令和4年1月25日に開催しました。

定例会では、弁護士による研修会や、令和4年4月の成年年齢引き下げや、コロナ禍での情報発信等についての意見交換を行いました。



消費者志向自主宣言 フォローアップセミナー

消費者志向自主宣言事業者は、消費者志向自主宣言をした後、定期的にフォローアップ活動をし、公表することが求められています。フォローアップの具体的な手続きや事例を知り、自社のフォローアップにつなげていただくため、令和4年2月14日にセミナーを開催しました。

グループワークでは、様々な業種同士での意見交換が活発に行われました。



◆消費者志向経営：事業者が消費者全体の視点に立ち、健全な市場の担い手として、消費者の信頼を獲得するとともに、持続可能で望ましい社会の構築に向けて社会的責任を自覚して事業活動を行うこと

子どもの事故防止ネットワーク 関係者会議

医療や看護・NPO法人等の関係機関等と連携し、子どもの不慮の事故防止を推進するため、関係者ネットワーク会議を令和4年2月18日に開催しました。

消費者庁での取組発表のほか、各委員の令和3年度の取組について共有するとともに、コロナ禍における事故の変化やその予防、情報発信の方法等について意見交換を行いました。



とくしまエシカル消費推進会議

「エシカル消費」の普及啓発を図り、公正かつ持続可能な社会を実現するため、消費者団体、事業者、行政機関等で構成する「とくしまエシカル消費推進会議」を令和4年3月7日に開催しました。

会議では、徳島県から令和3年度の「徳島県におけるエシカル消費の認知度」を公表したほか、消費者庁やエシカル消費自主宣言者（エシカル消費に取り組む団体・事業者等）からの取組発表が行われました。



◆令和3年度「エシカル消費」の認知度：53.9%
(前年度50.8%、3.1%増)
(内訳)「言葉及び意味を知っている」(15.3%)
「言葉のみを知っている、聞いたことがある」(38.6%)

コラム

消費者庁 新未来創造戦略本部
石川 達雄



徳島県を実証フィールドとした 「特殊詐欺等の消費者被害における 心理・行動特性に関する研究」の実施について

消費者庁新未来創造戦略本部では、高齢者を中心に特殊詐欺や悪質商法といった消費者被害が発生している実態を踏まえ、「特殊詐欺等の消費者被害における心理・行動特性に関する研究」をスタートしました。本研究では、被害を受ける側の心理的特徴について調査と分析を行い、消費者被害の未然防止に向けた、より効果的な情報発信について検討するため、徳島県警察本部と徳島県のご協力を得ながら、徳島県を実証フィールドとしたアンケート調査等を令和3年11月より行っています。

本研究では、心理特性の一つである楽観性バイアスの観点から、脆弱な消費者の被害防止を検討します。楽観性バイアスとは、災害等の出来事が他人に比べて自分には起こりにくいと思いつつも認知バイアス（心理的なクセ）の一種です。



徳島県運転免許センターで行われた
消費者被害に関するアンケート調査(松茂町)

楽観性バイアスは加齢に伴って強くなり、修正をしにくくなるのが分かっています。

おそらく、高齢の方ほど消費者被害についても自分が遭う可能性を低く見積もり、被害に遭わない自信が高まる傾向があると考えられます。

消費者被害に関するアンケート調査は、現在、警察署や運転免許センター、徳島県消費者情報センターなどで実施しております。その調査結果等により楽観性バイアスを切り口として被害に遭いやすい人の特徴・傾向の解明をめざしており、特殊詐欺防止のためのよりターゲットを絞った効果的な情報発信に役立てることとしています。

コラム

消費者庁 新未来創造戦略本部
藤井 聡子



公益通報者保護制度の実効性向上に向けた取組

平成29年度に県内全市町村で設置が完了した通報窓口（内部・外部）は、労働者が事業者内で不正を発見したとき、その事実を通報することで、不正を早期に是正し、被害の防止を図ることを目的に設置されました。これは公益通報者保護法という法律に基づくもので、公益のために通報した人が、通報したことを理由に事業者から解雇や降格などの不利益な取扱いを受けることのないように、公益通報者を法によって保護しています。

令和2年度の法改正（令和4年6月施行予定）により、労働者だけでなく、退職者（退職後1年以内）や役員も保護の対象となり、また、通報者を特定させる情報の守秘義務違反に対して刑事罰を導入するなど、公益通報者保護の実効性を高める内容となりました。



市町村等公益通報担当者研修会(令和3年12月15日)

徳島県では、県職員を対象としたeラーニングや、県内市町村の通報窓口担当者を対象とした研修会の実施、また、外部の労働者等からの通報を各市町村に代わって一次対応する市町村共通窓口の整備など、公益通報に適切に対応するための様々な取組を行っています。これらの取組は、全国への広がりを見据えた先進事例となっています。

新未来創造戦略本部では、このような自治体の具体的な取組やその有用性について積極的に発信しており、引き続き、全国的な体制整備の促進に努めてまいります。